

# JIS

UDC 681.3.06

X 0607

## 非逐次記録を用いる追記形及び 書換形の情報交換用媒体の ボリューム及びファイルの構造

JIS X 0607<sup>-1996</sup>

平成 13年 3月 20日 付け追補 あり

(2005 確認)

平成 8 年 3 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣      制定：平成 8 . 3 . 1

官 報 公 示：平成 8 . 3 . 14

原案作成協力者：財団法人 光産業技術振興協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 ー 1 ）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

# 非逐次記録を用いる追記形及び 書換形の情報交換用媒体の ボリューム及びファイルの構造

X 0607-1996

Information technology—Volume and file structure of write-once and rewritable  
media using non-sequential recording for information interchange

## 日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1995年に発行されたISO/IEC 13346-1 (Information technology—Volume and file structure of write-once and rewritable media using non-sequential recording for information interchange Part 1 : General), ISO/IEC 13346-2 (Part 2 : Volume and boot block recognition), ISO/IEC 13346-3 (Part 3 : Volume structure), ISO/IEC 13346-4 (Part 4 : File structure) 及びISO/IEC 13346-5 (Part 5 : Record structure) を翻訳し、技術的内容を変更することなく一つにまとめて作成した日本工業規格であるが、第2部以降の規格内容は、原国際規格を要約したものである。

## 第1部 一般

1. **適用範囲** この規格は、情報処理システム利用者間での媒体による情報交換のためのボリューム認識、起動ブロック認識、ボリューム構造、ファイル構造及びレコード構造に関するフォーマット及び関連システム要件を規定する。媒体への記録は、どのような順序でもセクタを記録可能とする方法で行わなければならない。

**備考** 媒体は一種類に限定しない。媒体の種別は追記形、再生専用形、書換形又はそれらを組み合わせた複合形のどれであってもよい。

この規格は次の5部構成をとる。

- (1) **第1部** 一般
- (2) **第2部** ボリューム認識及び起動ブロック認識
- (3) **第3部** ボリューム構造
- (4) **第4部** ファイル構造
- (5) **第5部** レコード構造
- (6) **附属書1** ICB方策(第4部の一部とする。)

第1部は、引用規格、定義、表記法及び他の4部に適用する基本構造を規定する。

2. **部の参照** この規格で用いる参照番号の最初の数字は、部番号を示す。例えば、2/5は第2部の第5節を示し、図4/3は第4部の図3を示す。

3. **適合性**